

第30回母乳育児シンポジウム プログラム

「温故知新-これまでの30年を振り返り明日(あす)へつなごう

主催：一般社団法人日本母乳の会

後援：UNICEF 東京事務所・厚生労働省

日本小児科学会 日本小児科医会 日本助産師会 日本看護協会 日本周産期・新生児医学会 日本新生児育成医学会
東京都産婦人科医会 東京都小児科医会 東京都助産師会 東京都看護協会 日本産科婦人科学会(申請中)

8月20日(土)

8:30～ 受付

総合司会：魚住 梓 (小) 横浜市立大学附属病院
田中 和代(助) 東京都立大塚病院

9:00～9:30

開会 挨拶：西巻 滋 (小) 第30回母乳育児シンポジウム実行委員長

挨拶：吉野 和男(産) (日本母乳の会代表理事)

メッセージ：ロベルト・ペレス UNICEF 東京事務所長

メッセージ：厚生労働省子ども家庭局母子保健課長 (予定)

9:30～10:00

ベビーフレンドリー母乳育児支援施設発表

BFH返上(分娩扱いの中止による)後も、産前・産後の母乳育児支援施設を発表いたします

司会：吉野 和男(産) 日本母乳の会代表理事

10:00～10:40 一般演題1

司会：長坂 康子(産) 立川相互病院

(1) 退院後から1カ月健診までに完全母乳栄養の継続を困難にする状況とそれに影響する要因

伴 麻衣 岐阜県総合医療センター 4階東病棟/岐阜市

(2) 予定帝王切開分娩の産婦に対する授乳シミュレーションの取り組み

菅原 紀恵(助) 岩手県立磐井病院/一関市

(3) NICU/GCU入院児に対応した母乳育児相談外来のニーズと支援の実際

瀧 真弓 東京都立大塚病院/東京都

(4) 助産師面談を活用した入院中の看護ケア

市来 由梨香 柿木病院/鹿児島市

10:40～11:20 一般演題2

司会：石田 史彦(小) 横浜市立大学附属市民総合医療センター

(5) コロナ禍における当院のマタニティークラスの運営について

八木 聡美 済生会新潟病院産婦人科病棟/新潟市

(6) 当院における分娩期にCOVID-19陽性だった母親への母乳育児支援 第二報

芳賀 晴 東京都立大塚病院/東京都

(7) COVID-19陽性となった母親への産前産後の授乳支援

立石 麻耶 谷口病院/泉佐野市

(8) COVID-19罹患母の母乳育児支援～愛着形成促進のための関わり～

瀧野 美里 立川相互病院産婦人科病棟/立川市

11:20～12:10

実践報告1「母乳育児基本 乳頭ケアと山内3.5カ条」

赤ちゃんが生まれてすぐに母乳が飲める状態にしておくことが、重要です。妊娠中からの乳頭の手入れ、そして実践施設の紹介をします

司会：金井 佳奈(助) 立川相互病院

研究：中山 香映(助) 昭和大学

(1) 妊娠中からの乳頭ケアの重要性を知る 有道 順子(助) 国立病院機構岡山医療センター/岡山市

(2) 施設報告1：妊娠中からの乳頭ケアを始めて

(3) 施設報告2：乳房・乳頭ケアについての現状報告

12:10～13:10 昼食 弁当は各自で用意 社員総会(予定)

13:10～14:25

研究・実践報告2「母子同室・同床・添い寝の調査・実践について」

赤ちゃんが生まれたら一緒にいることは当たり前で自然なこと。「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」とお母さんたちのアンケートをもとに安心な母乳育児を考えます。

司会：岸野 亜矢(助) 横浜市立大学附属病院

佐藤 美保(小) 横須賀共済病院/小児科医

(1) 基調講演：母子同室・同床、添い乳等アンケート調査から 林 時仲(小) 北海道療育園/旭川市

(2) 施設報告1：母乳育児の基本母子同室に取り組む 中西貴美子(助) 京都民医連中央病院/京都市

(3) 施設報告2：母子同室についての現状報告

(4) 施設報告3：自宅で安心して母乳育児ができるための入院中からのかわり

14:25～14:45 休憩

14:45～17:25

シンポジウム1「長く母乳育児を続けていくために：現場での取り組み」

母子ともに母乳育児は大きな恵みをもたらします。入院中そして、退院後、それぞれ工夫のある支援を紹介し、子育て支援まで考えます

司会：柄尾 梓(産) 国立病院機構横浜医療センター

岡田 真衣子(小) 東京都立大塚病院

(1) 2歳までの母乳育児調査から見てきたもの

基調講演：西巻 滋(小) 横浜市立大学附属病院/横浜市

指定発言：中村 政美(助) 横浜市立大学附属病院/横浜市

豊田 祐好(助) 横浜市立大学附属市民総合医療センター/横浜市

(2) 施設での取り組み：母親が自信を持って退院するために

大谷 ゆかり(助) 舞鶴共済病院/舞鶴市

(3) 開業産婦人科での取り組み：退院後、子どもたちの成長を見守って

山縣 威日(産) サン・クリニック/岡山市

(4) 小児科クリニックでの取り組み：母親の不安にこたえる支援

橋本 郁子(助) 橋本こどもクリニック/山形市

(5) 現場での取り組み：グループで母子を支える地域助産師たち

荒川 育美(助) 滋賀県おっぱい塾/近江八幡市

(6) 総合討論

8月21日(日)

8:30~

受付

総合司会：西 大介(小) 横浜労災病院
 ：小田原由美子(助) 立川相互病院

9:00~12:00 特別企画「日本母乳の会30周年を迎えて-過去から未来へつなぐ」

日本母乳の会が30年を迎えて、日本母乳の会が日本の母乳育児を広げる活動に果たした役割と今後の私たちの役割、そして、改めて母乳育児が、母子にとって、社会にとって重要性なのかを考えていきます。

司会：宮内 彰人(産) 日本赤十字社医療センター
 田中 久美(助) 国立病院機構長崎医療センター
 増田 淳司(小) 福井愛育病院

- (1) 招待講演：母乳育児「時は、流れる。時代は変わる」 山内 芳忠(小) 元日本母乳の会代表理事
- (2) 30年の歩み、そして日本母乳の会がどう変革をもたらしたか
 永山 美千子 日本母乳の会・日本医学ジャーナリスト協会
- (3) 社会の変化と母乳育児：変えてはならないもの 森沢 猛(小) 加古川中央市民病院
- (4) 母乳育児支援の基本 10カ条：母乳権と母子の権利
 永山 善久(小) 新潟市民病院・日本母乳の会副代表理事
- (5) 母乳の会は母乳育児支援がお母さん・施設全体を変えるのを見守ってきた
 佐藤 文彦(産) 山形市立病院済生館・日本母乳の会副代表理事
- (6) 日本母乳の会の基本理念と今後の私たちの役割
 吉野 和男(産) 吉野産婦人科医院・日本母乳の会代表理事
- (7) 総合討論

12:00~13:00 昼食

13:00~13:15 日本母乳の会からの提言

司会：中野 隆(産) 富山ろうさい病院

提言：お母さんにやさしい分娩時のケア

黒川 賀重(産) 「お母さんにやさしい分娩時のケア」検討委員会 黒川産婦人科医院

13:15~14:15 特別講演

「母乳哺育と感染症」

司会：西巻 滋(小) 横浜市立大学附属病院

講師：早川 智 日本大学医学部 病態病理学系微生物学分野 教授

母乳は哺乳類特有の生殖様式であり、そのメリットは大きい。新生児に受動免疫を与え、腸内フローラを形成する一方、HTLV-1などの感染経路となりえる側面もある。母乳哺育のメリットとデメリットを感染症学の立場から概説します

14:30~16:20

シンポジウム2「母乳育児 伝えること・伝わること」

伝えても伝わらない、伝え方がわからない、母乳育児の疑問をQ&Aと一緒に考えていきます

司会：秋葉 和敬(産) 秋葉産婦人科病院

井田久留美(助) パルモア病院

- (1) 母親・父親へ 伝えること・伝わること(仮)
 木村 由里(助) 横浜市立大学附属市民総合医療センター/横浜市
- (2) 助産師へ 伝えること・伝わること(仮)
 廣瀬 孝子(助) 日本赤十字社医療センター/東京都
- (3) 産科医へ・小児科医へ 伝えること・伝わること 岩田 みさ子(産) 東京都立大塚病院/東京都
- (4) 保育園へ 伝えること・伝わること 天沼 史孝(小) 岩手県立磐井病院/一関市
- (5) 総合討論

16:20~16:30 閉会挨拶：西巻 滋 第30回母乳育児シンポジウム実行委員長